

国語科	科目 言語文化 (必修) 授業時数 1 単位 履修学年 1 学年
----------------	---

目 標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。
----------------	--

●学習内容

1 学期	1 0 時間	2 学期	1 7 時間	3 学期	8 時間
第 1 章 説話、漢文入門 『宇治拾遺物語』、訓読の決まり	5	第 3 章 随筆 『徒然草』	5	第 6 章 故事成語 「助長」「虎の威を借る」	4
第 2 章 現代小説 『船を編む』(三浦しをん)	5	第 4 章 歌物語 『伊勢物語』 第 5 章 近代小説 『羅生門』(芥川龍之介)	4 8	第 7 章 漢詩 中国の漢詩	4

教材	授業の進め方
教科書:「新編 言語文化」数研出版 「新編 言語文化」 準拠ワーク」数研出版	国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指して、言葉による見方・考え方を働かせて様々な言語活動を行う。 具体的には、教科書で扱う様々な教材をもとに、文章読解やレポート作成などの「読む」「書く」活動や、グループでの話し合いなどの「話す」「聞く」活動を行っていく。また、定期考査を通して定着度を測る。

●身に付ける能力とそのレベル

評価の観点		知識・技能（技術）	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付けている。
	習得する (わかる)	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。
評価方法		・ペーパーテスト(事実的な知識の習得を問う問題及び知識の概念的な理解を問う問題)の結果	・ペーパーテスト ・レポート記述内容 ・グループでの話し合いや発表などの場面での観察	・授業中の発言内容や行動観察 ・生徒による自己評価や相互評価の様子及び記述内容

単元別 評価規準

第1章 説話、漢文入門

評価の観点		知識・技能(技術)	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。	作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。	積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明することができる。
	習得する (わかる)	古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などがわかる。	作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。

第2章 現代小説

評価の観点		知識・技能(技術)	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。	作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。	進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って話し合いに参加することができる。
	習得する (わかる)	文章の意味は、文脈の中で形成されることがわかる。	作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えることができる。	進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。

第3章 随筆

評価の観点		知識・技能(技術)	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	古典の世界に親しむために、文語のきまりや古典特有の表現などについて理解することができる。	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。	粘り強く本文の内容を読み解き、今までの学習を生かして構成を整理することができる。
	習得する (わかる)	古典の世界に親しむために、文語のきまりや古典特有の表現などについてわかる。	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に理解している。	粘り強く本文の内容を読み解き、今までの学習を生かして構成を整理しようとしている。

第4章 歌物語

評価の観点		知識・技能(技術)	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	古語の意味や和歌の内容について理解することができる。	作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。	粘り強く地の文と和歌の関係性を読み解き、本文全体を解釈することができる。
	習得する (わかる)	古語の意味や和歌の内容がわかる。	作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈ができる。	粘り強く地の文と和歌の関係性を読み解き、本文全体を解釈しようとしている。

第5章 近代小説

評価の観点		知識・技能(技術)	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。	積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の考えを文章にすることができる。
	習得する (わかる)	言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることがわかる。	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に理解している。	積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の考えを文章にしようとしている。

第6章 故事成語

評価の観点		知識・技能(技術)	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。	訓読の順や書き下し文について、提示されたきまりを基に的確に捉え、理解することができる。	故事成語の用例を調べて発表する課題において、粘り強く用例調査に取り組むことができる。
	習得する (わかる)	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係がわかる。	訓読の順や書き下し文について、提示されたきまりを基に理解している。	故事成語の用例を調べて発表する課題において、粘り強く用例調査に取り組んでいる。

第7章 漢詩

評価の観点		知識・技能(技術)	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	漢詩全体の意味や、漢詩の形式、押韻について理解することができる。	作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。	由来について諸説ある漢語の語源説を調べる活動において、粘り強く調査に取り組むことができる。
	習得する (わかる)	漢詩全体の意味や、漢詩の形式、押韻がわかる。	作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈ができる。	由来について諸説ある漢語の語源説を調べる活動において、粘り強く調査に取り組んでいる。